

職人芸に宿る伝統の味を 明日の神戸ファッションに

■座談会出席者（敬称略・順不同）

渡邊 干城 〈㈱渡邊洋服店・社長〉

飯島 祺雄 〈㈱紳士服飯島・社長〉

横山 忠世 〈ヨコヤマ洋服店・代表〉

田中 謙司 〈紳士服オーダーサロンセント・代表〉

中島 正義 〈ファッションオーダーなかじま・代表〉

足立 英明 〈㈱太田洋服店・営業部〉



渡邊 干城

——本キャンベーン座談会の一つの大きなテーマである「ファッション」。前回は若者層に照準を合わせ、ブティックオーナーの方々にヤングファッションの動向などについてのお話をうかがいました。今回はもう少し視点をアダルト層に移し、代々神戸の地で店を構えておられる注文紳士服店の経営者の皆さんに、神戸ファッションについてのお話をうかがいたいと思います。

まずお仕事を通して日頃感じていらつしやること、お考えになっていらつしやることをお話いただきたいと思っています。最初に自己紹介をかねて、この業界に入られたいきさつなどをお聞かせいただきたいと思います。

「代々受け継ぐ技術が神戸ファッションなんです」

渡邊 うちは父が田舎から出て来て、洋服店に徒弟として入社し、昭和6年に独立してやっていたんですが、戦後の闇市の混乱時代にアメリカの憲兵隊長と知り合いになり、外貨をゆづってもらって外人向けの店に出入りすることができるようになり、当時稀少価値であった輸入服地を扱えるようになって、よそ様より有利な商売をすることができるようになりました。そういうことから全国の間屋に生地をまわす立場になり、その一部から紳士



飯島 祺雄



足立 英明



田中 謙司



横山 忠世



中島 正義

服地以外に輸入生地販売部門を置きました。私は、生地
の輸入専門ということで英国の毛織会社へ3カ月程つと
めたりしました。生まれた時から洋服屋だったというわ
けです。

飯島 私は関東の人間で、昭和33年に神戸に来ました。
洋服作りの職人に入り、知らない土地でひたむきに洋服
を作って現在に至っております。昭和38年に独立しまし
た。根っからの神戸っ子とは違うという意味では、特色
のある洋服屋とちがいますか。

田中 大正4年におじいさんが関東から職人としてやっ
てきまして技術一本でやってきました。親父も職人とし
てやっています。僕自身は3代目で、先代同様、技術一
本でやってきました。

中島 うちはおじいさんが石川県から出てきて神戸で修
業して、技術では名人のうちに入るといわれた人でし
た。父もその弟子で、私も3代目です。私は学校を出て
すぐおじいさんについて技術を教えられましたが、なか
なかおじいさんのようにうまくいきません。昭和37年に
独立して自分でこつこつ商売をしています。昭和58年か
ら、元町3丁目のショールームの中にテナントで入って
いましたが、経費がかかりすぎてお客さんに負担がかか
るのでやめ、今は、自分の家の方でやっています。

横山 私は魚屋をしていましたが、灘区で叔父が洋服屋
をしていましたので、17歳の時に、そこに入り、まる24年
外へも出ずに年中無休で仕事をしてきました。15年くら
い前に独立し、自分で縫って自分で納めています。兄弟
弟子がはたに居てくれて、恵まれた商売をしています。
足立 私は皆さんとちがって但馬に18年住んでいて、高
卒時、姉の嫁ぎ先の太田洋服店に入れてもらいました。
技術は全然なく、営業だけやっています。社長と従業員
との間のパイプ役になれたらいいと思っています。

——神戸の紳士服の特質について、感じられること、誇
れるところはどんな所でしょうか。

中島 神戸洋服の一番いい所というのは昔からの伝統で

技術がよく、型くずれせず、細かい所まで心がゆき届いていることですね。最近その技術がおろそかになっているような気がします。

田中 技術は代々受けついでゆかれるものですが、過去の人の名声は追い越せません。親父よりおじいさんの方が上手だったとか、実際は追い越しているんでしょうがそういう印象がしますね。それが伝統というものでしょう。

中島 時代に応じてその時代はそれがよかったです。うが、今は消耗品の時代で、そんなに細かい仕事をしなくてもいいという時代になっていますね。洋服に対する観点が変わってきてるんですね。既製品が出てきたというのはそのことですね。

渡邊 神戸洋服がよいということは、技術面はともかく販売の面からいいますと、神戸の町的要素が一つ買っていると思います。いいかげんな仕事を一つ納めると次の日には噂がワーツとひろがって、お客様の信頼を失い、そこに存在できないようになってしまいます。消費者の目が非常にきびしいことです。だから仕事はよくならざるを得ないということです。

足立 注文服はお客様との人間関係がきついですね。消費者が年々高いレベルから物を見るので、裏地、ボタン一つでも気を使って作っておかないとお客様が逃げていきますからね。昔ほど神戸洋服という見方をお客様はしないんじゃないかと思えますね。自分の店がたまたま神戸洋服だったということが多く、個々の店の姿勢が問われてくる時代になったと思います。

田中 神戸洋服というのは、今では過去の遺産である和我々は言ってるんですけどね。今技術的にはどこもかしこも独立したものはないと思えますよ。日本中どこもいっしょで、田舎とか町とか関係なしにすべて一つの線に並んでいます。

横山 神戸で長年修業した本場にうまい人が、九州へも四国へも流れていってますし、それにこの頃の子はかし

こいから、手先の感覚です。ことでも電話で教えてやったらできるくらいに技術がゆきわたってますからね。

飯島 “神戸”にこだわっていたら乗り遅れますよ。消費者がそれをどこまで認識しているか疑問ですね。結果的にいい洋服が“神戸洋服”であったということじゃないでしょうか。

「お客さんのセンスを磨くのも我々の仕事です」

——あえて“神戸”である必要もないわけですね。これから売っていくとしたらどの辺をアピールしないといけないでしょうか。

中島 やっぱ神戸の人はおしやれで、色、柄、ボタン一つでもうるさいですよ。

足立 “君に会って服のセンスが変わった”とお客さまに言われるのが一番嬉しいという話をこの間、田中さんが言われていますが、お客様をいかにおしやれに指導するかが販促の問題ですね。急に変えるわけにはいかないでしょうが。

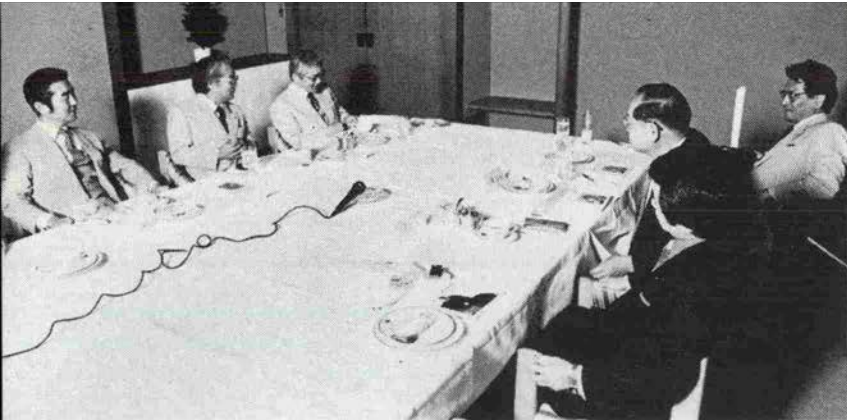
渡邊 うちは直しが多いんですが、一般に直しの納期が遅いとお客様から聞きますね。私の所では限界を2週間くらいにしています。こういうふうにマイナス面を消すことも大事ですね。

田中 以前ネクタイの直しをやったかなり反響がありましたね。こういう話題性のある動きもほしいですね。

横山 昔の技術と、今の技術はちがうと思うんですよ。

昔は裁断する人が下手でも上手な名人が縫えばうまい服が縫え、60〜70%が裁縫にかかったたわけですね。今は裁断はそこそこの基本を皆知って線のいい服は勉強すればできますから、裁断の方で、販売とか、神戸洋服ということにつながったらいと思えますけどね。

飯島 K・T・Aという技術団体を作っていますが、昔とちがって、センスのある服を作ってくれと言っています。10年も20年も着るとちがうから、とにかくセンスのある服を作ってくれと……。



足立 最近のお客様は裏のつけ方とかうるさく言わないですね。寸法があつてカッコよかったら「おまえんこはうまい」ときますもんね。

飯島 お客様を自分の店に合うように作っていかないといけませんね。今まではありがとうございましたと低姿勢でしたが、我々は物を作って売ることに誇りをもってお客様に魅力を持たせる販売をしていかなければいけないのちがいますか。

中島 洋服屋自身がいつも勉強しているという姿勢をみせるのが一番ですね。

渡邊 お客様が多くなるといろいろな人が出てきて、一つの枠にはめられません。お客様がこうして欲しいと言えば、専門家の立場よりお客様の要望を優先しています。

飯島 ある程度お客様の要望にそわなければいけませんね。

渡邊 主人の好みをお客様に押しつけると逃げられます。特に若いお客様に多いですね。お客様に応じた仕事は、しなきゃいかんでしょうね。

——時代の流れと共に客の好みが変わった、ということですね。技術、センスのある職人を育てる責任と

か、後継者の問題はどうでしょう。

横山 注文服のお客は、店ののれんにつかないですね。個人的な人間関係のお客様ばかりです。お客様とのコミュニケーションはむずかしいですよ。

足立 注文洋服の技術者は組織では育たないですね。個人によって育てられますから。2、3年先を見こした経営ができないですね。その日を一生懸命やるだけが精一杯で、2、3年先を見こしての人集めはできませんし、むずかしいです。

横山 あと10年たったら、ほとんど既製品になって、注文服はダメになるかもしれませんね。

中島 後継者問題は一番むずかしいですね。現在はお客様がありますが、10年先になって注文服を作るお客があるかないか疑問ですね。どうせ消耗品だから既製品でいいといわれたら技術者は必要がなくなるわけで、今から若い後継者を育てても仕方がないですからね。ですが本当は、伝統を守るとしたら我々が後継者を養成して残していかないといけないんですけどね。

足立 今、店自体が4、5人の新人を教える経費を出して養成するのは不可能ですね。即戦力じゃないと育てられないですね。

田中 最低賃金制と労働時間制がいわれてからそれができなくなりましたね。昔は徒弟制度があつたからできましたけど。どの分野でも後継者がなくなりますね。

中島 行政である程度養成してくれたらいいんですけれどもね。個人で養成するのはむずかしいですよ。婦人の洋裁学校の中に紳士服を教える所を作るとか。

横山 板前のように学校で習ってもダメですよ。洋服も学校で習っても使いもんになりません。

中島 しかしある程度わかってきてから教えるのと、全然わからないのを一から教えるのではちがいますよ。足立 神戸のファッション都市づくりの一翼をわれわれも担っているのですが、業界はなかなか苦しいですよ。それに神戸は人口の割に同業者が多すぎますね。大阪か

ら来ている人もいますが、神戸から大阪に出ている人の方が多いですよ。いかに神戸は商売がむずかしいかということですね。

渡邊 私の所のお客様は8割が東灘から西宮にかけての人で、勤め先は大阪の人ですね。神戸に仕事場をもっている人は少ないですね。住環境としてはいいですけどね。

飯島 商売の町とちがいますわ。

中島 神戸市も神戸ファッションを提唱するんだったら業者がもうかるような方策をとってもらわないと困りますね。(笑)

横山 ファッションというと華やかに聞こえますが、一般の方のみる技術と、職人のいう技術はちがうんですがね。

田中 しかし神戸はたしかにセンスはあるといえるんじゃないですか。

横山 神戸はセンスはあっても、何かこちやこちやっているだけという感じもありますね。

足立 ファッションでは神戸はどちらかというと保守的ですね。

若い層へのアピールが今後の課題

——最後にしめくりとしまして、少し、これからについてのお考えを一言ずつお願いします。

足立 自分が選んだ道ですからこの道しかないと思います。お客様から、あいつに出会ってよかったといわれる男になりたいですね。自己鍛練をして、お客様にちょっとでもプラスになるようなことをしたいです。そしてそれが商売の発展につながると思います。

中島 K・F・S (神戸ファッションソサエティ) でファッションについて勉強していますが、紳士服ならいつに作ってもらおうというお客様、ファン作りが一番大事じゃないかと思えますね。

田中 洋服屋は社長になったらあかん。おやじさん、マスターであり、お客様の身になってアドバイスできる人

でありたいですね。できたら息子に継げる店であるようにがんばっていききたいですね。

飯島 残り少ない人生を趣味と実益をかねた商売であるようにがんばりたいです。(笑)

田中 趣味を通りこして道楽になるようになりたいですね。道楽で商売すると苦にならないし、睡眠不足もしんぼうできます。

渡邊 いろいろな会合に行くと、あるクラス以上になるとみな注文服ですね。既製服より注文服がいいとすればいい物を着たいというのは人間の本性ですから、いつの時代でも人間の本性は変わりません。ですからそれに合う体制作りをしていったらこの商売は終わらないと思いますよ。

注文服の店が減ってその減った分のお客がどこに流れているかという点、百貨店なんですね。その辺が残念だから少なくともそれを私達の洋服屋さん同士でとっていったらやっていけるんじゃないかと思えますけど。

中島 今の独身貴族の年代で注文洋服のよさを知っている人はほとんどいないです。子供の頃から学生服からずっと既製服ですから、そういう人達に注文服のよさを知っていただく必要がありますね。昔は父が息子の服を作っていたけど今は、今は高くて作ってやれなくなっていて、注文服のよさがわからないまま大きくなったから、大人になっても作らないわけです。

横山 今第一線で活躍しておられる職人さんは、高い技術をもった人が多いから、これからはきつとよくなりますよ。

——若い人たちが、常に新しいファッションを追いかけている反面、神戸には昔からのスタイルを自分のファッションとして持ち続けている人たちも多いと思います。そういう人たちのためにも伝統を受け継いでいって欲しいですね。本日はどうもありがとうございました。

(ブラン・ドゥ・ブランにて)

田崎真珠(株)

取締役社長 田崎 俊作
神戸市中央区港島中町 6-3-2
TEL (078) 302-3321

オールスタイル(株)

取締役社長 川上 勉
神戸市中央区伊藤町121
TEL (078) 321-2111



H. ISHIYAMA

キャンペーン「国際文化都市神戸を考える」の
企画は以上2社の提供によるものです。

国鉄・元町駅

もとまち
阪神電車



協和会館

■五事(タテキ)



P元町カーロッシ

■ロッフキャビン(レストラン)



ナカハマ
(肉料理)

高砂さんぽ

「本」の字を大切にしています。

本高砂屋

TEL331-7367

神戸店開店7周年
感謝フェア開催中

京セラ
クリサンパル

神戸元町店
TEL392-3141

His Elegance



NINA RICCI
Paris

元町三番街ニッケショールーム
TEL391-6195

工務

TEL331-3694

特選呉服

志ようふや

TEL331-0771~2

カヌヤ玩具店
紳士用品マルサウ
長崎カステラ総店
玉田ピアノ
洋菓子店のヒロタ

メンズショップコトブキ
L婦人服飾元町モード
コウサコム免校店
新石美術品播新
紳士婦人服飾フナキヤ
紳士婦人服飾ワムズイ
婦人服飾リリー
フテック・シャン
ハンドバッグ河野カバン店
お茶の放香堂

メンスショップ千紗屋
河島たけ二味線良店
観音屋
珈琲館 たらはな
靴袋物コト用品タカハシ
日本料理 時雨茶屋
美術品 林小竹堂
オカマ洋食店
日本シガーミシン
京セラクリサンパル
三越神戸店

六甲
信組
自然食アスミルハウス

商

店

街

三番街

フジ栄煙草元町専門店
和菓子茶屋二ツ茶屋
婦人服コイベルックス
長崎本舗
紳士婦人服飾ヤタナカオ

眼鏡・光学品 神戸眼鏡院
紳士服ニッケショールーム
カヌヤミヤサカメテ
小物・ミニチュア・サマ
婦人服ニッケショールーム
婦人服ニッケショールーム
婦人服ニッケショールーム
婦人服ニッケショールーム

海文堂書店
紳士服菱万商店
ハーパー・ロッテリア
ランド・デ・日の出

婦人服飾PIAGE
舶来雑貨ルイ・ヴィトン
紳士洋服洋品ストック

和洋菓子 喫茶 神戸月堂
刃物 土器 切味の家
紳士洋服 志ようふや

婦人服飾ミナモト
紳士洋服トラヤ
時計・金飾 美田
菓子製造販売 本高砂屋
紳士婦人服 志ようふや

元町三番街・大丸へ



第一勧業銀行

青辰(穴子)

話題のひろば

<1>

■社団法人日本ホテル協会秋季総会

活力ある産業目指し 全国ホテル業者集う



あいさつをする吉原会長(右上)祝辞を述べる石野神商会頭(右中)鏡割りをする吉原会長と河野支部長(右下)石野会頭の音頭で乾杯(中上)美人の夫人連れで…(中)氷の彫刻が華やか(中下)石野会頭を中心に(左上)来賓の方々(左中)帝国ホテル犬丸社長を囲んで(左下)

社団法人日本ホテル協会の昭和61年度秋季総会が9月29日、神戸国際会議場で開催された。

この総会は、春と秋の年2回、全国のホテル業者の代表が集まり議案及び報告事項をとり行なうもので、今回は神戸で開催される運びとなった。

総会後の神戸ポートピアホテルでの晩餐会では、約400名の全国のホテル関係者や来賓が出席し、盛大に行なわれた。

吉原政雄会長(パレスホテル社長)の挨拶の後、ミス神戸、準ミス神戸の二人から手渡された槌により、吉原会長と河野良三支部長(オリエンタルホテル社長)が鏡割りを行なった。来賓代表の石野信一神戸商工会議所会頭が「ホテル業界も競争の激しい時代となってきたけれど、それは言い換えれば活力のある産業だという証拠。これから大いに発展することを願います。」と述べて、乾杯の音頭をとった。

会場には、帝国ホテル、ホテルニューオータニ、京王プラザホテル、ホテルオークラ、ロイヤルホテル、川奈ホテル、ホテル日航大阪、ホテルプラザ、杉乃井ホテルなどを始めとした全国各地のホテル関係者が顔を揃え、華やかな中にも厳肅さを加えたホテル業界らしいパーティーであった。

神戸市文化賞・文化奨励賞 贈呈式



左上／受賞者の方々 右上／宮崎市長より賞状を贈られる河本春男氏 下左より佐本進氏夫妻・新野幸次郎氏と小島幸さん・宮崎豊治氏夫妻

話題のひろば

<II>

■“文化都市こうべ”の創造に貢献 '86神戸市文化賞・ 文化奨励賞贈られる

神戸市の文化の発展に貢献した人たちに贈られる、六十一年度、神戸市文化賞と文化奨励賞の表彰式が十月一日、相楽園会館で行われた。

文化賞には、戦前戦後を通じて生活に根ざした詩作活動に励んだ林喜芳氏、神戸市洋画壇の重鎮として後進の指導に貢献している兼行武四郎氏、きらびやかなソプラノの持ち主の小島幸さん。

また神戸大学学長の新野幸次郎氏、衣食住の改良研究に励む浅野晶子さん、芸術家の創作活動の場にと自宅の一部を「シアター・ポシエット」として開放、地域文化の振興に貢献した佐本進氏、神戸市サッカー協会会長としてサッカーの普及と発展に尽くした河本春男氏ら七人。

そして、将来の活躍が期待される奨励賞には、彫刻家の宮崎豊治氏と「神戸マリン・パソサエティ」を主宰し、ユニークな演奏会を企画している宮本慶子さんが選ばれた。表彰式は、文化賞には賞状、記念品（銅鐸レリーフ）と賞金二十万円、奨励賞には賞状と賞金一〇〇万円が宮崎神戸市長より贈られた。

さらに坂井神戸市会議長より「これからも神戸の文化発展、後進の指導に貢献して頂きたい。」とお祝いの言葉が述べられた。

★Ohノタカラヅカ対談★
 〈宝塚歌劇団・演出家〉

岡田 敬二 &

剣 こだま 幸

舞台を観る感動を たくさんの人に

セピア色のムーディなショーを

岡田 久しぶりに月組で仕事をすることになって、今回は、この組が持っている若さを生かして、タングに始まってオペレッタ、ジャズと、バラエティ豊かに展開するのがねらいで、トータルには「ラ・ノスタルジー（郷愁）」なので、セピア色のムードでいこうと思っています。

剣 私は小さい時から映画が好きで、それこそチャンバラからミュ

ージカルまでいっぱい観ていて、頭の中に今でもあって、それがセピア色なんです。だからムーディなショーにしたいですね。

岡田 ウタコ（剣）とダンスの家城比呂志先生は、富山市が生んだ二大スターだからね（笑）。

剣 富山は芸能関係で活躍していらっしゃる方が少ないですし、舞台とかよりも、もっと他のものに興味を持たれる方が多いですね。舞台を観ることとか、それによって感動することは人間にとって大

うのは残念なので、設備を整えていただきたいですね。先生は東京のご出身でしたね。

岡田 そう。東京で生まれて育って。僕で九代目の江戸っ子（笑）。下町の生まれだから言葉が悪くて。剣 そうですか？

岡田 心の中に納めておけない方だね。稽古場ではとにかく発散して、お客様に楽しんでいただくために、演じるものも、創るものも楽しく、とにかく明るくやらなければいけないというのが僕の信念で、今回のショーでもビートルズの「フールオン・ザ・ヒル」という曲を使って、ウタコが郷真由加とこだま愛を取り合う場面を、喧嘩をしながらのデュエットでやってみようと思ってる。

剣 よくニューヨークなんかで舞台を観ると洒落てるんですよ。かけ合いでも、単に二重唱しているとかじゃなくて、芝居がらみでポンポン、リズムが交替して、言葉がわからなくても、おもしろいこと言ってる感じがよくわかって。

これまでにないタイプのデュエットで嬉しいですね。私は剣幸という大きな魅力があるわけではなく、黒っぽいとか、赤っぽい、という形の個人の魅力が意外にないと思ってるんです。そういうものを持った人が芝居をやれば、〇〇さんが演った〇〇の役になるけれ



月組の若さを生かしたショーを

切なこと
 だと思
 うん
 宝塚に
 限らず、
 良い場
 所がない
 ために来
 ないとい



ども、私にはないから、それが短所でもあり、長所でもあるんです。けれども、役に全部のめり込むんです。作品によって全然違っていると思ってきただけ、ショーなんかは特に、場面ごとにコロコロ変われたら楽しいですね。

岡田 逆に言えば、演出家の色に染まってくれるわけだから演出しがいがあるね。剣岳の清潔感があるし（笑）。

役でもいいから男役をやりたいかったです。

岡田 これまでくんはとても才能がある人だし、踊りは定評があるところ、僕たち演出家にとって必要なことは、どれだけ舞台で輝くか、ということなんだけど、彼女の場合、可憐なことも出来るしとても大人っぽい場面も出来るし。

岡田（笑）エエッほんとに。こども レッスンが実際始まって同期生とかまわりを見わたして、自分の顔を鏡で見て（笑）、やっぱり向き、不向きってありますでしょう。そこで、ちょっと無理じゃないかと思つて、それから娘役の勉強をずつとしてきて、今でも機会があれば男役をやってみました。憧れの気持ちは今もずうとありますけどね。この一年で変わらなかつたし、ますます大きくなつたのが、舞台が好きだつていう気持ちですね。どんな端でも出ているのが楽しくて、役を作っていくのがおもしろくなつていた時に、ウタコさんの相手役で通しの役を頂くようになって、最初、大きな流れというのが戸惑つたんです。私は割に、瞬間的に弱いタイプで、時間をかけて膨らましていく方なので、ウタコさんがそれを待って下さる、というか、一緒に考えてやって下さるので、とても幸せだと思います。

岡田 剣くんの場合、非常に大人だから、ミミ（こども）のことを考えて大人の対処してるんじゃないかと思う。その意味では、コンピネーションが安定している。剣 私、二人で作っていく段階がすごく大切だと思うんです。一

素敵な女性を自然に演じられたら（こども） “ピーターパン”をやってみたい（剣）

僕が「哀愁コンピ」と言ってるぐらい、ウタコとのコンピは、見せるという点で満点に近いんじゃないかと思ってる。こども（笑）光栄です。この一年あつたという間に過ぎました。音楽学校に入つた一番最初は、少年

人が引つ張り上げるとかじゃなくて、芝居はやっぱりみんなで作るもんだし、徐々に出来上がっていくものだと思います。それが大切なことだし。

岡田 天才的に、感覚的に作っていく人もいるけれども、剣くんの場合、じっくり、ステディに作っていくと思う。

剣 可能性、みたいなものが大事



ムーディなショーをお楽しみ下さい

まく絡み合って出来ているんです。

物を創る人間は熱っぽく

こだま やっぱり宝塚だから、っていう雰囲気が好きで入りましたから楽しいですね。髪型とかで、いろいろ変われますから、楽しんで工夫してやっていきたいです。変身願望も強いですし。

だと思っんです。天才的な人がこれ、と思って、広がらない部分がありますでしよう。

岡田 決まっちゃうとね。

剣 最初、一つの外郭を掴んでもあつたほどなつていう枝葉があつて、それから元に戻つてそういうふうになればいいと思っんで、私がミミによつて教えられる部分もありますし、結局はお互い

剣 みんなそうだと思っね。男役なんて特に。やりたいことはまだまだたくさんあるんですけど、宝塚の中で今までにない、ちよつと枠を越えたものがやれたら本望ですね。その中でも「ビーター・パン」みたいなすごく夢のあるもの、大劇場の中をウワァーッと飛び回りたい。どこかで吊つてもらつて、レーザー光線がバーツと当

たつてとか。メチャクチャ悪で、トップが悪をやることは普通ないんですけれども。どっかに人間の血が流れている、みたいな悪。何かの理由でそうならざるを得なかつた、みたいなのを演つてみたい。

こだま 私もしろんな風に変わりたいと思っます。メルヘンな雰囲気役とか、素敵な女性を自然に演じられる様になつていきたいと思っます。大きな人になりたい。

岡田 今、ウタコが「ビーター・パンを演りたい」と言つたのを聞いて、なるほどなと思つた。枠を越えるということは大切なことだし常に新しいものに挑戦していくことは、我々にとつても大切だし、宝塚も73年目で前を向いて行かなくてはいいけない。

剣 伝統的なものを残していかなければいいけないし、これだけ世の中が動いて、お客様が求めてくるものが変わつていますから、それに対応しなければ、と思っます。

岡田 物を創る人間というのは、いつも熱っぽくないといけないと思っ。新しいものに挑戦して、インターナショナルな視点もあつてなおかつ、宝塚の伝統的なグレイドのあるレビューを創りたい。創つている段階ではいろいろ夢を描いています。

MESSAGE from TAKARAZUKA



STAGE

●パリを舞台に月組のミュージカルロマン
パリ。組織の最後の仕事のためアレクサンダー橋に佇む男ジェフ。狙った男はジェフの拳銃で倒れ、霧が晴れば新しい生活が始まるはずだったが……。顔を見られたために組織から追われ、最愛の



剣幸(左) こだま愛

エヴァにも裏切られさまようジェフは、あの夜の目撃者ジジに救われる。旅芸人一座の暖かさに包まれ、やり直す決心をするジェフが、弟が組織に巻き込まれたことを知り、二度と足を踏み入れぬと誓ったパリへ帰っていく。ハードボイルドな男の世界、がっちり



涼風 真世 郷 真由加
めくる 一年を縮
かなレビ
した月組
の芝居が
楽しみ。
そして

BOW HALL

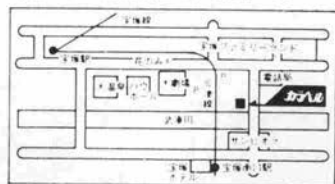
●若さはじて
恋のチェッカーフラ
ッゲ
カリフォルニアの小
さな自動車工場の整備

★宝塚ミュージカルロマン「パリ」
それは悲しみの一種 種田 伸作・演出
グランドレビュー「ラ・ノスタルジ
」岡田 敬二・演出 11/14・12
13S2800円 A2000円 B
1300円 C600円(水曜休館)

宝塚歌劇 座席券セットのホテル

宝塚レディースイン

●ご宿泊(朝食付) お一様 ¥5,000
(税・サービス料なし) 全室バス・TV付



阪急宝塚南口駅、徒歩3分・阪急宝塚駅、徒歩5分
〒665 宝塚市武庫川町47-1 ☎0797(81)0001

雪組の一路真輝と紫とも
のフレッシュコンビが繰り
広げるコメディ・タツチの
青春ドラマ。
★パウ・ミュージカル「恋のチェッ
カーフラッグ」2幕 石田昌也作・
演出・音楽 パウホール 11/10ま
で2800円

トと知り合う。
供をはねて以来レースカー
のステアリングから遠去か
っているが、断ちきれない
思いが週末の馬鹿騒ぎに駆
りたてる。そんなハリーが
恋や結婚を夢見るボーレッ
ツ



フレッシュメンバーのドラマ
Iは、
かつて
F1の
チャン
ピオン
を目指

NEWS

●友の会へのお誘い
素敵な夢を贈り続け
る宝塚の舞台。そのレ
ディドリマーの世界
への架け橋、宝塚友の会に
あなたも入りませんか。
A会員/六カ月 三千元で
毎月「歌劇」を郵送。
B会員/六カ月 三千元で
毎月「宝塚グラフィック」を郵送
普通会員/一年 二千元で
毎月「宝塚だより」を郵送
その他、友の会行事への
参加、座席予約などの特典
もあります。
花の道にある友の会サロ
ンには宝塚の情報がいつば
い。気軽にお寄り下さい。
お問合わせ・申込みは
宝塚友の会サロン 〒665宝
塚市栄町1の1の57 ☎07
97(85)6801 郵便振替
口座 神戸9-133286

★品の良い膝丈スカートが新鮮

9月1日、大阪にオープンしたホテルニューオータニ側アオイが、アイダナーとフェラガモのブティックを出店。これを記念してMIDシアターに於て「初秋冬と初春夏のコレクション」が開催された。フェラガモの三女フルビアさんも来日し、ミラノのコレクションをそのまま紹介。春夏物はフェラガモらしいバスステルカラーが基調。上質の素材を使用した。膝が見える短かめのスカートのセー、白と黒のコンビのフラットシューズという組み合わせが多く、印象的だった。さすがに靴からスタートしたフェラガモらしく足元にまで気を配られたショウだった。



足元に注目

★ジバンシィ・秋冬オートクチュールコレクション
オートクチュールの大御所、ジバンシィの秋冬新作のファッションショウが、10月3日、オリエンタルホテルで開かれた。今年の特徴は、流動的なストリートラインでボディにびたりとしたスリムなものが多く、イブニングはバストと腰を強調したプリ



ゴージャスでクラシッな印象

ンセライン。昼の服にも、夜の服にも、スネークプリント、ししゅうがふんだんに使われ独特の華やかさが漂っている。モデル5名によってスウィーツ、ドレス、コートなど約20点が紹介され、豪華で多彩なショ

いとなった。

★HAND-MADE DOLLS「江戸村」

9月30日から10月1日まで、画廊ひこばえ（三宮本通）において、手づくりのビエロの展示会が行われた。約70点の作品はすべて徳島県に住む吉田夢子さんによるもの。



楽しいビエロたちと吉田さん

以前から神戸はステキな町と、神戸で展示会を開くのが夢だったと。ビエロという、星形や水玉が頭に浮かぶ

が、ファッション性を重視しているというだけあって、ファッションブルな衣裳が目立つ。「自分の心の痛み、苦しみをビエロの中に託した」と話す吉田さん。今までとはちょっと違った、動きのある楽しいビエロたちだった。

★メンズ仕立てなのになぜか女っぽい……

大阪梅田ヒルトンプラザには数々の有名ブランドのブティックがオープンして話題を呼んでいるが、その中の「セルッティ1881ファム」は、秋冬のコレクションとビュッ



女らしいスリムライン

9月16日同ホテルで開催した。

レディスがトータルファッションで直輸入される関西では初めてのブティック。メンズ仕立てをベースにシャープな女らしさが漂う品の良い服は、極めてベーシックなスタイルだ。「青山、名古屋に次いで関西にもセルッティのファンを定着させたい」と輸入元兼オーナーの關サ・ストーンスリー代表石田美代

子さんの弁。

■セルッティ1881ファム・ヒルトンプラザB1F ☎06-3448-8118

★青屋発の「アンヌヴィオ」基礎化粧品誕生

「誇り高き美しさを明日へ」と、青屋発の素肌美づくりの基礎化粧品「アンヌヴィオ」（榎本安子代表取締役）が誕生し、その



ポートピアホテルで榎本さん

ブレイブのパーティが神戸ポートピアホテルで9月28日に開かれ、約100人が集まった。アメリカ南西部の昔、インディアンが重宝したというホバオイルをベースに、アブリコットや、ビタミン類などを加え、日本人の肌にも合わせた基礎化粧品の登場で、美への本心を「と意欲的。ヴィズ・ヴィズ3Fに本拠地を置いて全国展開をすすめる。ゴールド・エッセンス（¥15000）スキンローション（¥5000）クリーンフォーム（¥4000）☎0797（31）6624

★「テーブルの情景」生活工芸品「京都・今

海文堂ギャラリーにて、9月27日・10月3日、「テーブルの情景」というテーマで京都の工芸技術者のグループ「HUMAN'S 21 K YOTO CLUB」の展示会が行われた。



ディレクターの幻一さん

白磁と金属、金銀と漆など異素材を組み合わせた現代生活、洋感覚に合う工芸品、また一方で「そばの宝

装」など、京都らしいオリジナリティが日常に使える物を作りたい」と代表の幻一さん。お求めは ☎（075）811-8849 まで。

'86-'87 WINTER COLLECTION

ときには、時を止めて、
アフター5の妖精になりましょう。
フレイズ



serizawa
KOBE

■本店 神戸市中央区三宮町3-1-8 TEL.078-331-1695 ■さんプラザ店 ■センター街店 ■さんちか店 ■P-4ショップ ■メンズ・セリザワ KOBE・OSAKA・TOKYO・KYOTO・HIMEJI

■'86京阪神ファッションマンズ参加／ファッションショー

大和撫子の心意気みせた 藤本ハルミの“夢を着る”



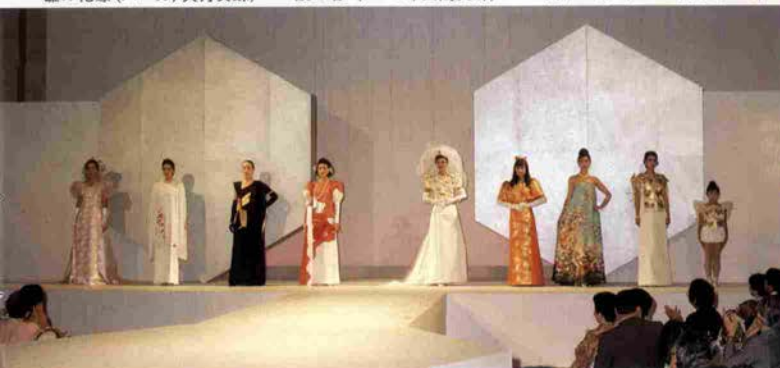
花束をうける藤本ハルミさん



雛の花嫁〈パール/大月真珠〉

波の塔〈パール/田崎真珠〉

高砂の月〈パール/山勝真珠〉



神戸ポートピアホテル併楽の間で豪華なフィナーレ

緑茶色のドレスをまとった「夢着」二人が誘う「藤本ハルミのファッションショー」「夢を着る」(K・F・M・会長)は、十月十五日'86京阪神ファッションマンズの神戸発信のプログラムとして、神戸ポートピアホテルに、昼の部七〇〇人、夜の部デザイナーショー二七〇人のファンが入場して、いかにもKOBÉといえる美のアルカディアの世界へといざなった。

第一回は明治一〇〇年の時(S43)に、第二回は流れる季節に(S52)に開き、昨年まではK・F・Mのリーダーとしてショーを重ね、九年ぶりのライフワークショーは、日本の絹ときもの地を、日本女性のためのドレスをと、心をこめて仕上げた三〇点のオートクチュール作品。

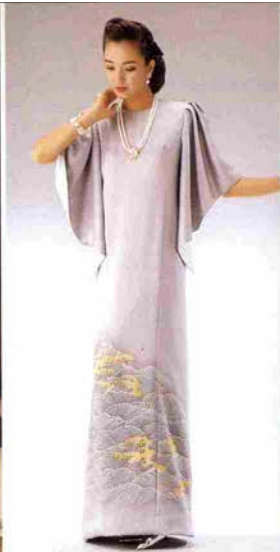
演出・岡田美代、美術・石阪春生、音楽・新井満、照明・林恵介さんらの一流スタッフに囲まれて地元の大月真珠、木下真珠、田崎真珠、森真珠、山勝真珠、そしてみよしや各社が協賛して、神戸のハイ・センスを磨きあげた豊潤な夢時間を九人のモデル達が彩った。

「キャブテンという船乗りの父を持ちハイカラ少女で育った私が、なぜ『日本』に『日本女性』にこだわるのかは、愛国少女として育くまれたせいでと田辺聖子先生に大和撫子の発光体といわれて気がつきました。神戸の皆様のご協力を感謝します」と、藤本ハルミさんは少女のように愛らしくお礼の言葉でフィナーレを飾った。

■オートクチュールマガレット/中央区
山本通2・2・7 ☎078(24)5690



華宴 〈パール/大月真珠〉



海峽 〈パール/山勝真珠〉



曲水の宴 〈パール/田崎真珠〉



鴛鴦の賦 〈パール/木下真珠〉



夢の蝶 〈パール/森真珠〉



青い竜宮城 〈パール/大月真珠〉



冬の銀河 〈パール/山勝真珠〉



夢候よ 〈パール/田崎真珠〉



芦刈 〈パール/木下真珠〉



花暦 〈パール/森真珠〉



辺聖子・柴田美保子さんと共に



小山乃里子・大月社長(右より)らと共に



久武真由美さんの作品前で/田崎社長夫人(右)



藤本ハルミさんを囲んで

■私のアメリカ〈6〉

産学協同精神のF I T
すべての授業が新鮮

松谷 年郎

(株紅屋常務取締役)



大きな期待と不安を抱きつつニューヨークでの生活は、アパート探しから始まった。毎朝、ニューヨーク・タイムズのアパート情報欄を見、朝早くから、日暮れまで約一週間、マンハッタンの中を歩きまわった。中には、東洋人をきらう人がいるかと思うと、大変親切に部屋を案内してくれる人もいた。やっとのことで、国連ビルの近くのアパートの一室を確保した。家賃は少し高かったが、短期間のことなので、安全で便利な場所を選んだ。

ファッション工科大学(FIT)の授業は9月の初めより始まり、小生は、ファッション店のバイヤーを志す人のためのファッションマーチャンダイジングのコースを取った。そのカリキュラムの内容は、約二十近くの基礎的な講座から成り立っており、アメリカのファッション産業の歴史、経営数学、衣料素材、色学、ファッションデザイン等、幅広く勉強させられた。これらの講座によって、バイ

ヤーになるために、最も必要な基礎知識を身につけるように、くふうされていた様である。講師もほとんどの人が、産業界での経験者でしめられ、生きた事例等が、授業で使われる様になっていた。産学協同の精神が学内にいきわたっており、日本の大学を卒業した者にとって、大変新鮮であった。

ここでも、英語に対する不安は、現実になってしまった。英語での授業は、やはりなかなか聞き取りにくく、最初の内は、講義内容を理解するのに苦労した。しかたなく講義が終わってから、アメリカ人のクラスメートにノートを借りる様にし、又、それでもわからない時は、講師の所まで行き、何度も同じ質問をくりかえした。又、毎日ホームワークも多く出されたため、アパートに帰ってから、夜おそくまで、机に向かっていた。しかし、日曜日になると、友達と映画を見たり、美術館に行ったりし、息抜きをした

がして、緊張感が抜けていく様な快感を
味わったものである。

筆者紹介

ものだ。マンハッタンの中で生活をして
いたので世界で一流といわれるものが、
手軽に見たり、聞いたりする事が出来た。
又、F・I・Tの講師の中には、親日的な
人も多く、サンクスギビングの時等には、
夕食に招待してくれたりと、楽しい時を、
過ごしたものだ。外国の地で生活す
る者にとってやはり、家庭の味は、なつ
かしいものであった。

そうこうしている内に、一年が過ぎ、

F・I・Tも卒業の時を迎えた。喜びとい
うよりも、何か、やつと終ったという、気

昭和23年生れ、横紅屋松谷富士男氏長男、
昭和48年4月、米国州立ニューヨーク大学
語学部へ入学、8月同校を卒業。昭和48年
9月、ニューヨーク州立ファッション工科
大学入学。昭和52年6月、米国州立ニ
ューヨーク大学大学院経営学部修士課程了。
昭和60年5月、米国州立ニューヨーク大学
国際経営学博士号取得。



「ニューヨークの窓」 PHOTO/菊池 満



老舗の伝統から
生み出された
手づくりの味を
贈る……。



ギフト各種 ¥1,500～¥5,000

創業明治六年

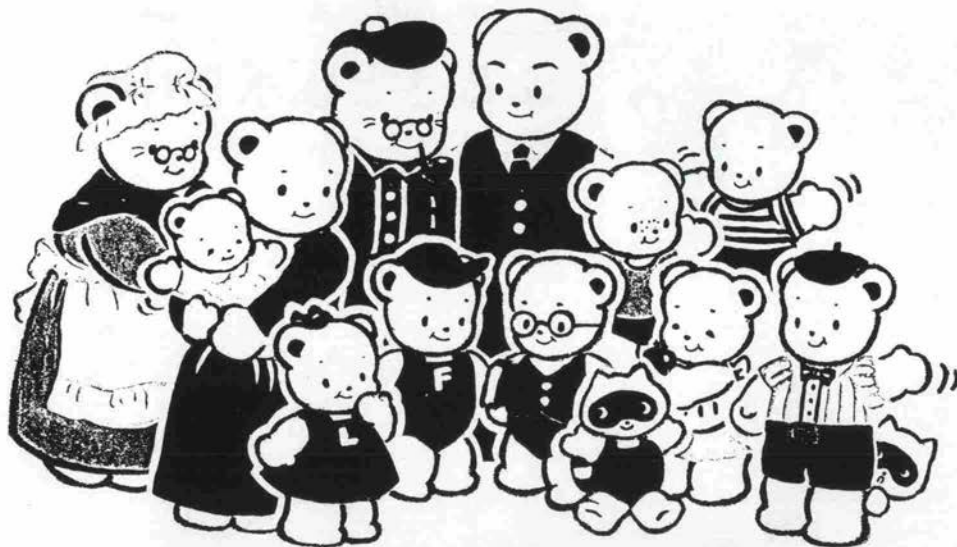
 亀井堂總本店

神戸・元町六丁目 (078) 351-0001(代)

瓦まんじゅう
やわらか焼
吹寄せ
お好みせんべい

ファミリア芦屋店OPEN!

11/1 sat. 国鉄芦屋駅北ラポルテ 2F



Fashions for Babies and Children

ファミリア

本社 〒650 神戸市中央区西町3-6 ☎(078)321-0345
東京支社 〒160 東京都新宿区新宿5-17-5 ☎(03) 209-6677

KOBE・OSAKA・KYOTO・NAGOYA・FUKUOKA・YOKOHAMA
TOKYO・SENDAI・NIIGATA・SAPPORO・HONOLULU